

2015年3月2日

オリックス株式会社
株式会社九電工

福岡県大牟田市で最大出力 11.7MW の メガソーラーが稼動

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）と株式会社九電工（本社：福岡県福岡市、社長：西村 松次）は、このたび、日本コークス工業株式会社（本社：東京都江東区、社長：西尾 仁見）が所有する福岡県大牟田市の土地を賃借し、建設を進めていた最大出力 11,720kW（11.7MW）の大規模太陽光発電所「福岡県大牟田市新開町発電所」の運転を開始しますのでお知らせします。

■事業概要

所在地	福岡県大牟田市新開町 3-1 他 9 筆
出力規模(モジュール容量)	11,720kW
敷地面積	約 171,115 m ²
パネル枚数	47,838 枚
年間予想発電量(初年度)	13,042,000kWh 一般家庭約 3,620 世帯分の年間消費電力に相当(*)
事業主	K クリーンエナジー株式会社 (オリックス株式会社 70%、株式会社九電工 30%)
施工会社	株式会社九電工
運転開始	2015年3月1日

(*)1世帯当たり 3,600kWh/年で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

オリックスと九電工は、今後も、環境エネルギー関連事業を積極的に共同展開し、太陽光をはじめとした再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報部 堀井・柴田 TEL：03-3435-3167
株式会社九電工 総務部広報グループ 渡辺・矢野 TEL：092-523-1691

Press Release



■ 「福岡県大牟田市新開町発電所」

